

2018年2月18日(日)

# 空き家利活用シンポジウム

～空き家の利活用を一緒に考えよう！～



茅ヶ崎市 都市政策課住宅政策担当 (担当:後藤、高際)

電話:0467-82-1111(内線2344)

FAX:0467-57-8377

email: [toshiseisaku@city.chigasaki.kanagawa.jp](mailto:toshiseisaku@city.chigasaki.kanagawa.jp)

# 本日のプログラム

1. 開会挨拶・趣旨説明 13:00～13:05

2. 基調講演 13:05～13:25

3. 活動団体による事例紹介 13:25～13:45

4. 市の施策の紹介 13:45～13:55

休憩（付箋に質問を記入） 13:55～14:05

5. パネルディスカッション 14:05～14:50

6. グループディスカッション 14:50～15:50

7. まとめ・講評 15:50～15:55

8. 閉会挨拶・お知らせ 15:55～16:00

# 1. 開会挨拶・趣旨説明

- **開会挨拶**

茅ヶ崎市長 服部 信明

- **趣旨説明**

市役所 都市部都市政策課長 関野 達夫



## 2. 基調講演

# 地域における空家の利活用—地域的展開の可能性



茅ヶ崎市住まいづくり推進委員会委員  
東海大学 加藤 仁美

# 神奈川県空き家の状況

空き家率は全国水準。増加率が高い。

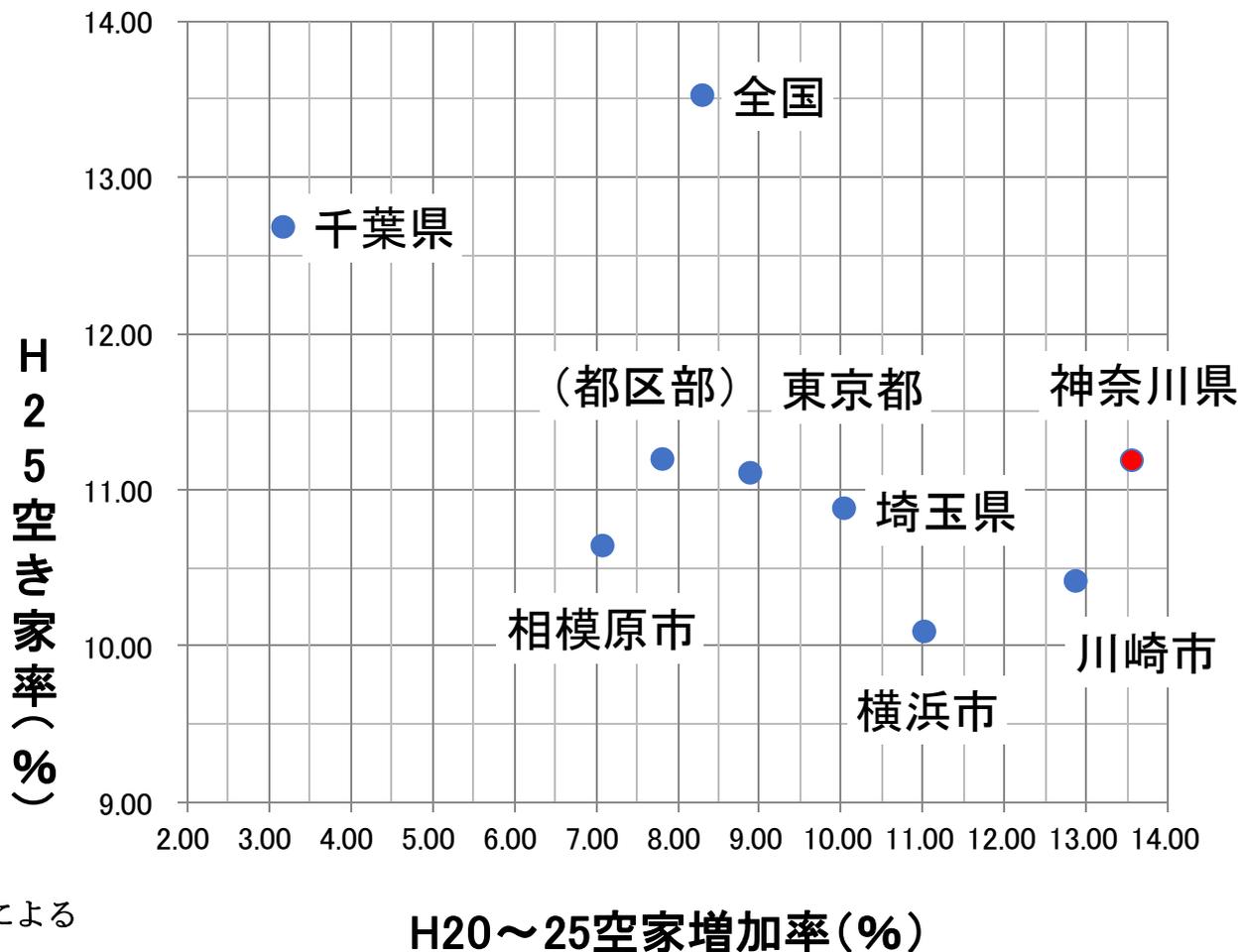
## 平成25年時点

全国の空き家率 **13.5%**

神奈川県の空き家率 **11.2%**

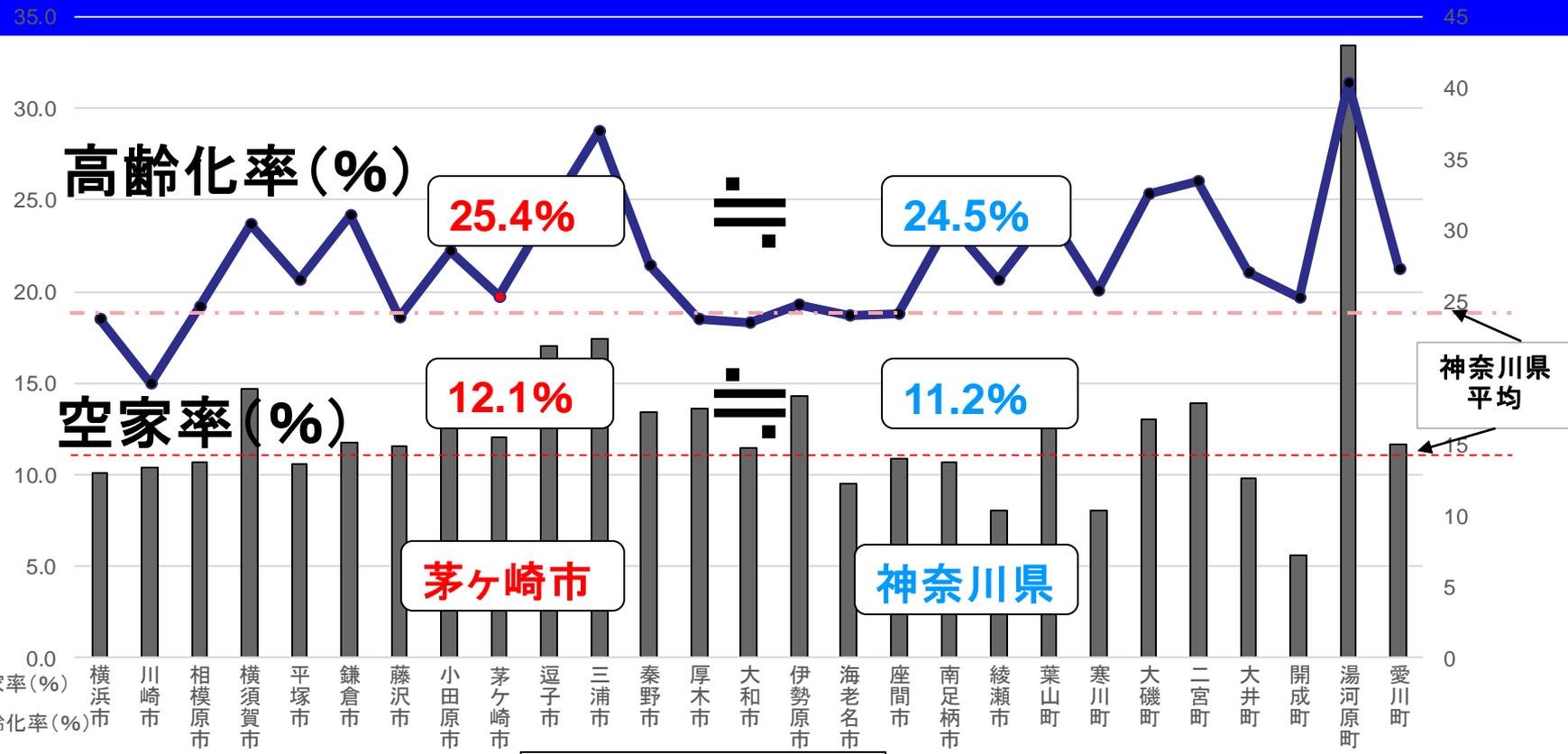
・空き家の総数は49万戸  
(全国3番目)

・空き家の増加率  
(平成20~25年)  
**13.6%**  
**58,100戸増**



\*平成20, 25年住宅・土地統計調査結果による





## 空家の種類

- 1. 賃貸用の住宅
- 2. 売却用の住宅
- 3. 二次的住宅
- 4. その他の住宅

1,2,3以外の方が住んでいない住宅で、転勤・入院などのため居住世帯が長期にわたって不在の住宅や建て替えなどのために取り壊すことになっている住宅のこと

→ 実質的な空家

神奈川県	27.4%
茅ヶ崎市	48.1%

**背景：少子高齢化、人口減少に伴う空地・空家の増加**

→ **住み継いでいけるまちづくり**

→ **地域で支え合うまちづくり**

**空き家の利活用→地域の価値・魅力を向上**

**日常生活を楽しく、多世代交流の場づくり**

**人とまちの新陳代謝、持続的に価値のある住宅地**

○ **地域の担い手づくり(人・主体づくり)**

○ **地域活動の場づくり(人をつなぐ)**

○ **地域連携・展開(活動をつなぐ)**

○ **地域マネージメントのしくみづくり**

# 事例：伊勢原市・厚木市 愛甲原住宅

## 福祉のまちづくり活動が展開

### 愛甲原住宅の概要

団地名	愛甲原住宅	
分譲開始年次(着工、完了)	分譲開始 昭和41年 (着工 S39年)(完成 S41年)	
事業主体	国家公務員共済組合連合会	
団地総面積	185.460㎡	99.100㎡
宅地分譲面積	122.400㎡	69.400㎡
区画数	612	276
平均宅地面積	200㎡	251㎡
用途地域	一低専、一住	一低専、一住
所在地	高森台1丁目、2丁目、3丁目地内	厚木市愛甲西2丁目
世帯数	702(住宅地図による)	251(住宅地図による)
人口	1607人	919人
(高齢人口)	568人	258人
(高齢化率)	35.5%	28.1%





- I 継続空家
- II 継続空地
- III 空家予備軍
- IV 空家→空地
- V 空家・空地→新築
- VI 住宅更新
- VII 敷地分割

A		B		C		D		E		F		合計		
2015	2016	2015	2016	2015	2016	2015	2016	2015	2016	2015	2016	2015	2016	%
9 (9)	14 (14)	6 (6)	18 (18)	8 (8)	12 (12)	3 (3)	7 (7)	5 (5)	14 (14)	7 (7)	3 (3)	38 (38)	68 (68)	7.1 (7.2)
2 (2)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	4 (4)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	4 (4)	9 (9)	0.9 (0.9)
-	0	-	1	-	4	-	1	-	1	-	0	-	7	0.7
-	0	-	(1)	-	(4)	-	(1)	-	(1)	-	0	-	(7)	(0.7)
0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	1	2	0.2
0	0	0	(1)	0	0	(1)	0	0	0	0	(1)	(1)	(2)	(0.2)
5 (5)	2 (2)	6 (6)	0	2 (1)	5 (5)	4 (4)	1 (1)	0 (0)	2 (2)	1 (1)	3 (2)	18 (18)	13 (13)	1.3 (1.3)
7 (7)	2 (2)	13 (13)	0	13 (13)	0	16 (16)	3 (3)	8 (8)	1 (1)	11 (11)	1 (1)	68 (68)	7 (7)	0.7 (0.7)
0	0	2	4	2	2	4	0	0	2	6	3	14	11	1.1
0	0	(1)	(2)	(1)	(1)	(2)	0	0	(1)	(3)	(2)	(7)	(6)	(0.6)

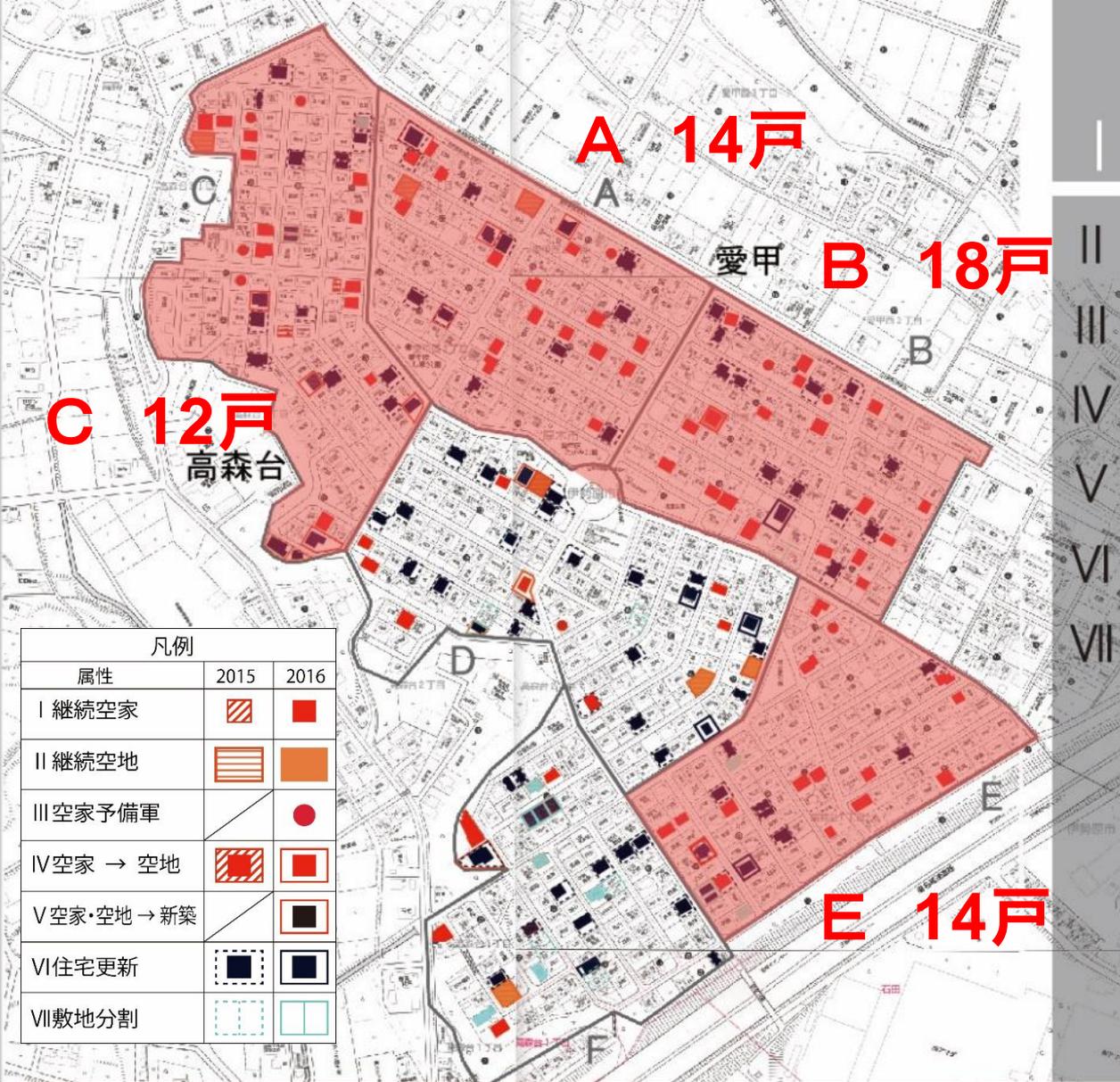
2011年から2015年8月、または、  
2016年5月まで空き家のまま



## I 継続空家

- II 継続空地
- III 空家予備軍
- IV 空家→空地
- V 空家・空地→新築
- VI 住宅更新
- VII 敷地分割

A		B		C		D		E		F		合計		
2015	2016	2015	2016	2015	2016	2015	2016	2015	2016	2015	2016	2015	2016	%
9	14	6	18	8	12	3	7	5	14	7	3	38	68	7.1
(9)	(14)	(6)	(18)	(8)	(12)	(3)	(7)	(5)	(14)	(7)	(3)	(38)	(68)	(7.2)



凡例		
属性	2015	2016
I 継続空家		
II 継続空地		
III 空家予備軍		
IV 空家 → 空地		
V 空家・空地 → 新築		
VI 住宅更新		
VII 敷地分割		

A		B		C		D		E		F		合計		
2015	2016	2015	2016	2015	2016	2015	2016	2015	2016	2015	2016	2015	2016	%
9	14	6	18	8	12	3	7	5	14	7	3	38	68	7.1
(9)	(14)	(6)	(18)	(8)	(12)	(3)	(7)	(5)	(14)	(7)	(3)	(38)	(68)	(7.2)

# I 継続空家

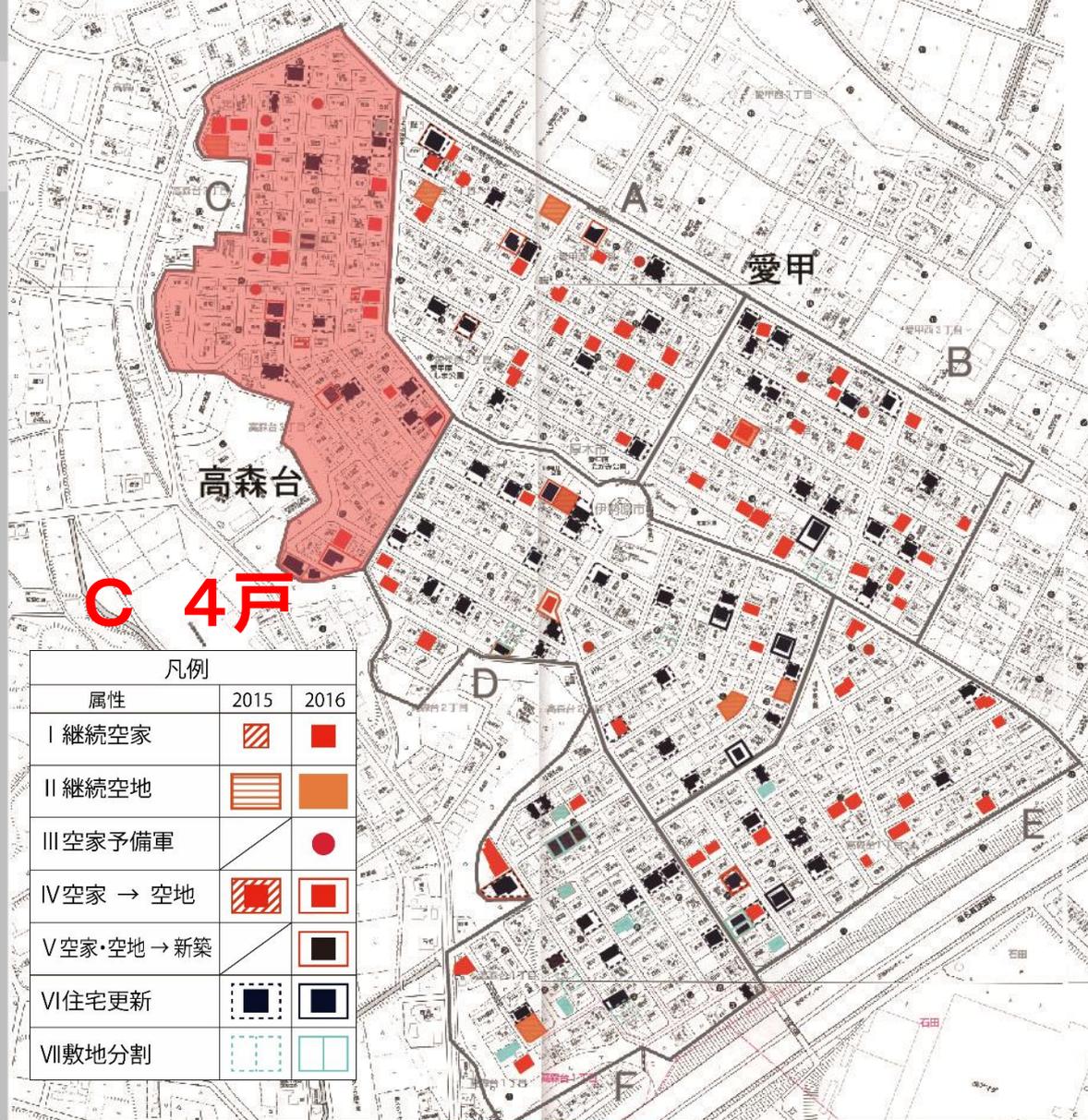
- II 継続空地
- III 空家予備軍
- IV 空家→空地
- V 空家・空地→新築
- VI 住宅更新
- VII 敷地分割

家主が福祉施設等に入居し  
月に数回ほどしか帰宅しない住戸



- I 継続空家
- II 継続空地
- III 空家予備軍
- IV 空家→空地
- V 空家・空地→新築
- VI 住宅更新
- VII 敷地分割

A		B		C		D		E		F		合計		
2015	2016	2015	2016	2015	2016	2015	2016	2015	2016	2015	2016	2015	2016	%
-	0	-	1	-	4	-	1	-	1	-	0	-	7	0.7
-	0	-	(1)	-	(4)	-	(1)	-	(1)	-	0	-	(7)	(0.7)



- I 継続空家
- II 継続空地
- III 空家予備軍
- IV 空家→空地
- V 空家・空地→新築
- VI 住宅更新
- VII 敷地分割

凡例

属性	2015	2016
I 継続空家		
II 継続空地		
III 空家予備軍		
IV 空家 → 空地		
V 空家・空地 → 新築		
VI 住宅更新		
VII 敷地分割		

A		B		C		D		E		F		合計		
2015	2016	2015	2016	2015	2016	2015	2016	2015	2016	2015	2016	2015	2016	%
-	0	-	1	-	4	-	1	-	1	-	0	-	7	0.7
-	0	-	(1)	-	(4)	-	(1)	-	(1)	-	0	-	(7)	(0.7)



- I 継続空家
- II 継続空地
- III 空家予備軍
- IV 空家→空地
- V 空家・空地→新築
- VI 住宅更新
- VII 敷地分割

A		B		C		D		E		F		合計		
2015	2016	2015	2016	2015	2016	2015	2016	2015	2016	2015	2016	2015	2016	%
-	0	-	1	-	4	-	1	-	1	-	0	-	7	0.7
-	0	-	(1)	-	(4)	-	(1)	-	(1)	-	0	-	(7)	(0.7)

①

2011年から継続している空地・空家 90件 (9.7%)

2016年から空家のものを合わせて全体で

**927** 戸中 **101** 戸が空家

②

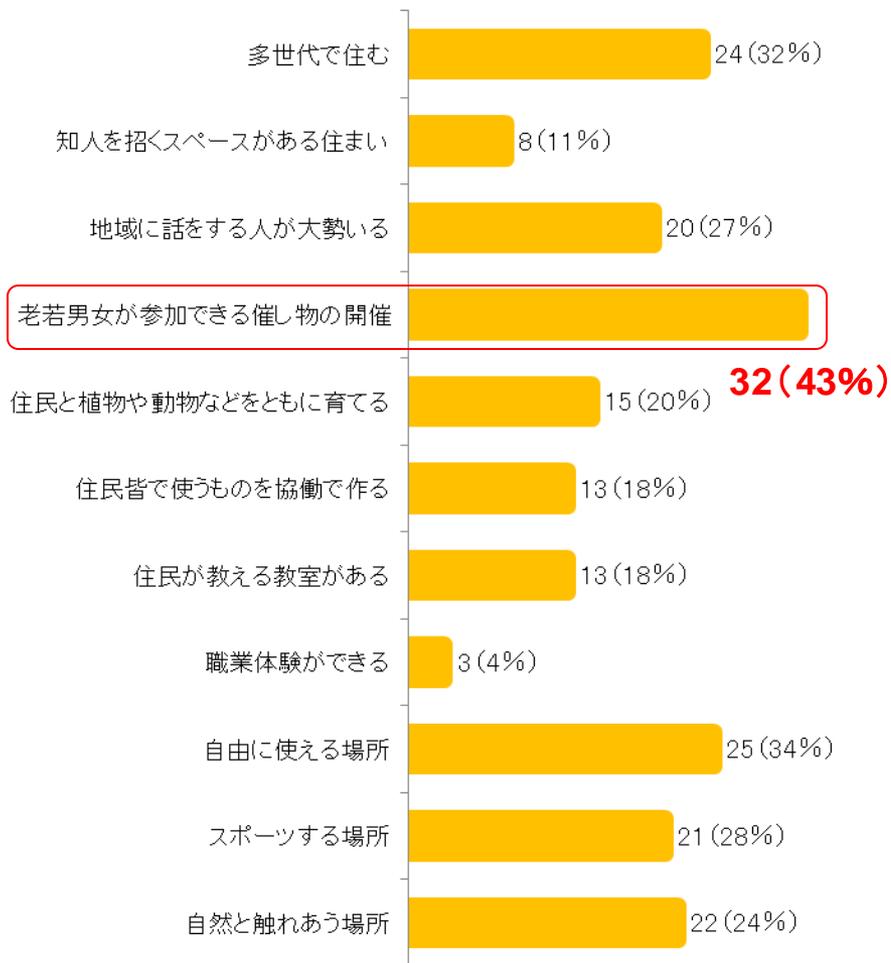
住宅更新 敷地分割 新築

**31** 戸 (3.1%)

# 生活環境とコミュニティに関するアンケート調査

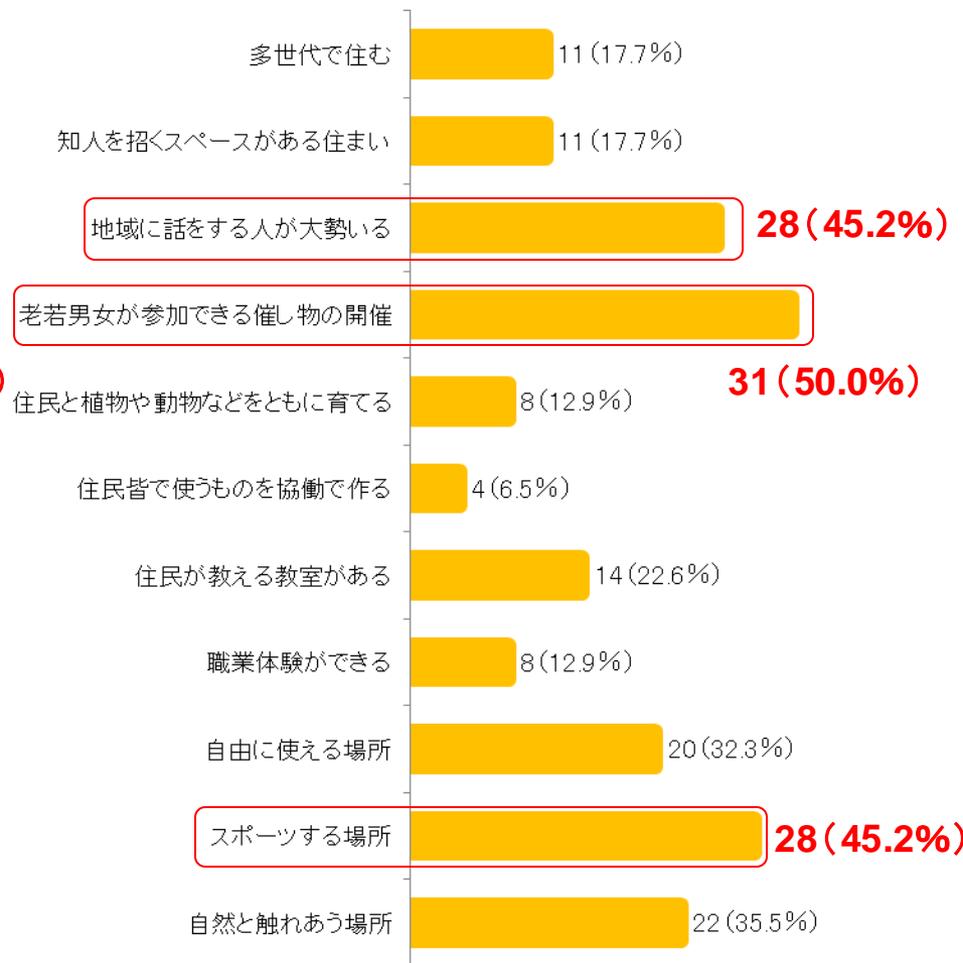
## 旧来居住者

### 地域に必要な場所



## 新規居住者

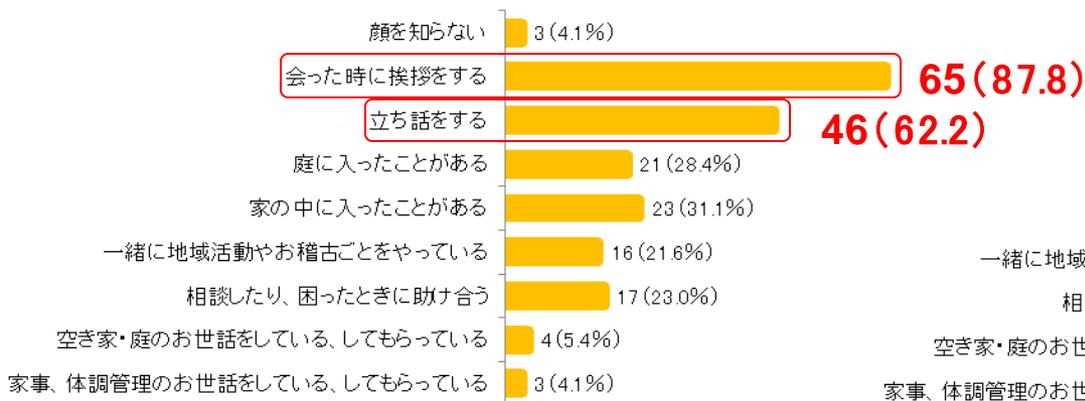
### 地域に必要な場所



# 生活環境とコミュニティに関するアンケート調査

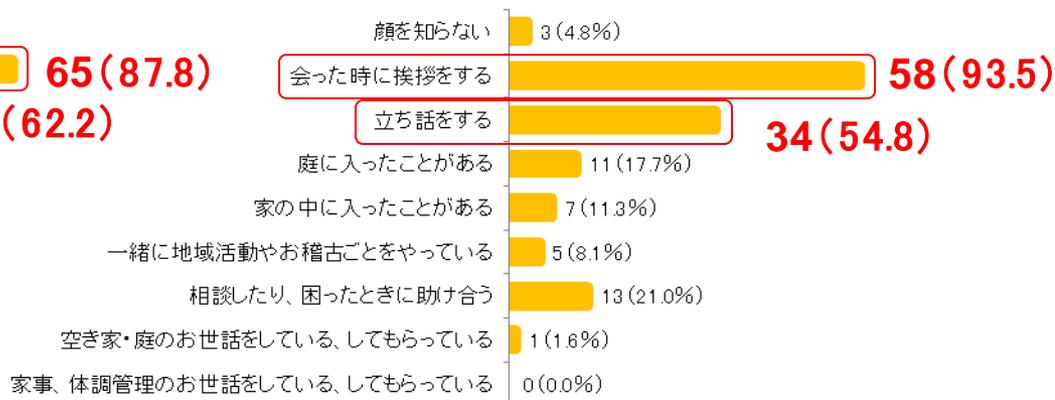
## 旧来居住者

### 隣近所の人とお付き合い

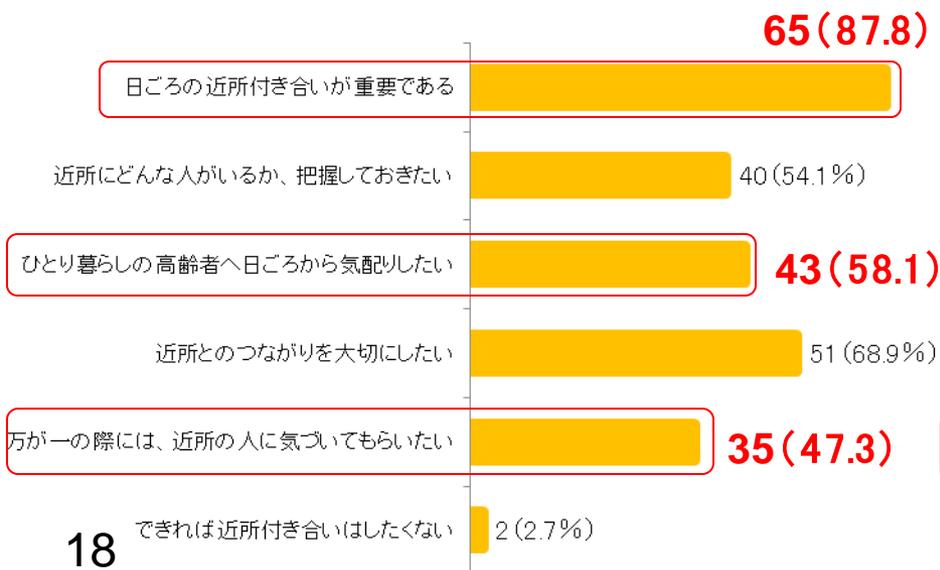


## 新規居住者

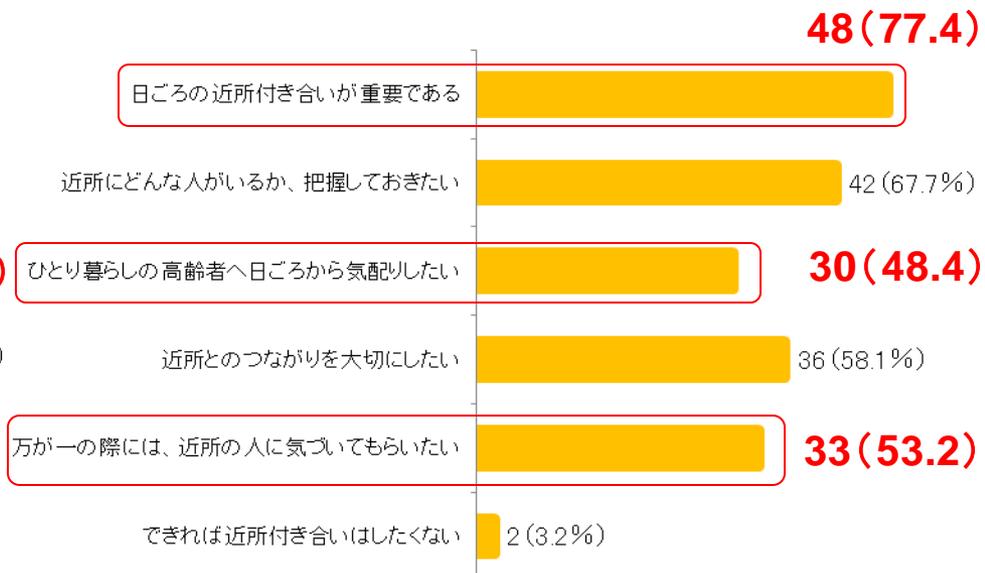
### 隣近所の人とお付き合い



### 近所付き合いの意識



### 近所付き合いの意識



# 愛甲原住宅：空き家の利活用事例



地域の中での信頼関係・積み重ね  
成熟したコミュニティ・地域のニーズ



# 茅ヶ崎市茅ヶ崎区：空家利活用と居場所づくり

## 地域的展開

年月	
1992	まちづくりユニット茅ヶ崎 開設 ・茅ヶ崎市内にある運動グループの10団体が集まり、「年をとっても障害があっても地域で住み暮らせるために」などの思いを形にする為、活動を行っている。 ・市民が持つ様々な資源(労力、時間、経験、お金、生活技術)や生活クラブ生協の資源を活用して、地域の中で心豊かに暮らしていくための仕組みや助け合いのシステムづくりを目指している。 参加団体(10):湘南生活クラブ生協茅ヶ崎 commons / ちがさきデポ- / NPO法人W.Co ー心 / NPO法人W.Co あんのNPO法人W.Coファイブ / NPO法人W.Co ぶらねっと / NPO法人ワーコレたんぼひろば / NPO法人W.Coほっぺ / NPO法人WE21ジャパン茅ヶ崎 / NPO法人W.Coのびのび
2011~	居場所づくりの活動を始める
2012.4	S宅の空家情報を得て、S氏の息子に許可を得る。
2012.6	「さいとうさんち」準備会の設立
2012.8	1 <b>さいとうさんち</b> <地域の居場所> (地域のお茶の間研究所 さろんどて)
2013	2 <b>かがわ7丁目</b> <地域の居場所> (NPO法人 デイサービス あのん)
2015.4	3 <b>辻サロン</b> <地域の居場所> (民生委員)
2016	4 <b>みんなの居場所</b> <地域の居場所> (鶴が台名店街に地域の居場所を作る会)
2016	5 <b>ら・ばれっと</b> <地域の居場所> (フリースペースら・ばれっと)
2016.10	6 <b>おむすび松林</b> <地域の居場所> (松林地区まちぢから協議会 子ども部会)
2017.1	7 <b>たんぼぼはうすく</b> <地域の居場所、一時預かり> (NPO法人W.Co たんぼぼひろば)
20	

## まちづくりユニット茅ヶ崎

・茅ヶ崎市内にある運動グループの10団体が集まり、「年をとっても障害があっても地域で住み暮らせるために」などの思いを形にする為、活動を行っている。  
・市民が持つ様々な資源(労力、時間、経験、お金、生活技術)や生活クラブ生協の資源を活用して、地域の中で心豊かに暮らしていくための仕組みや助け合いのシステムづくりを目指している。

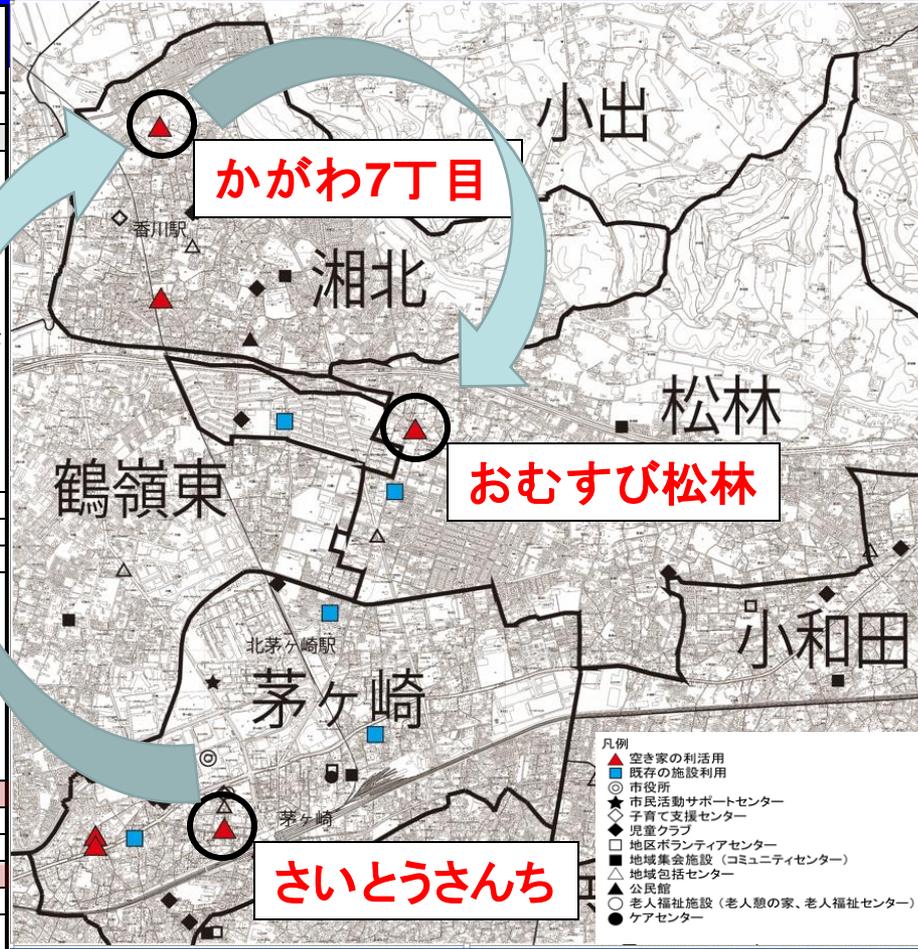
訪問介護・ケアマネージャーのスタッフが  
配食サービスや訪問介護をする中

- 介護認定を受けていない人の居場所がない
- 訪問介護等のスタッフが空家の情報を把握

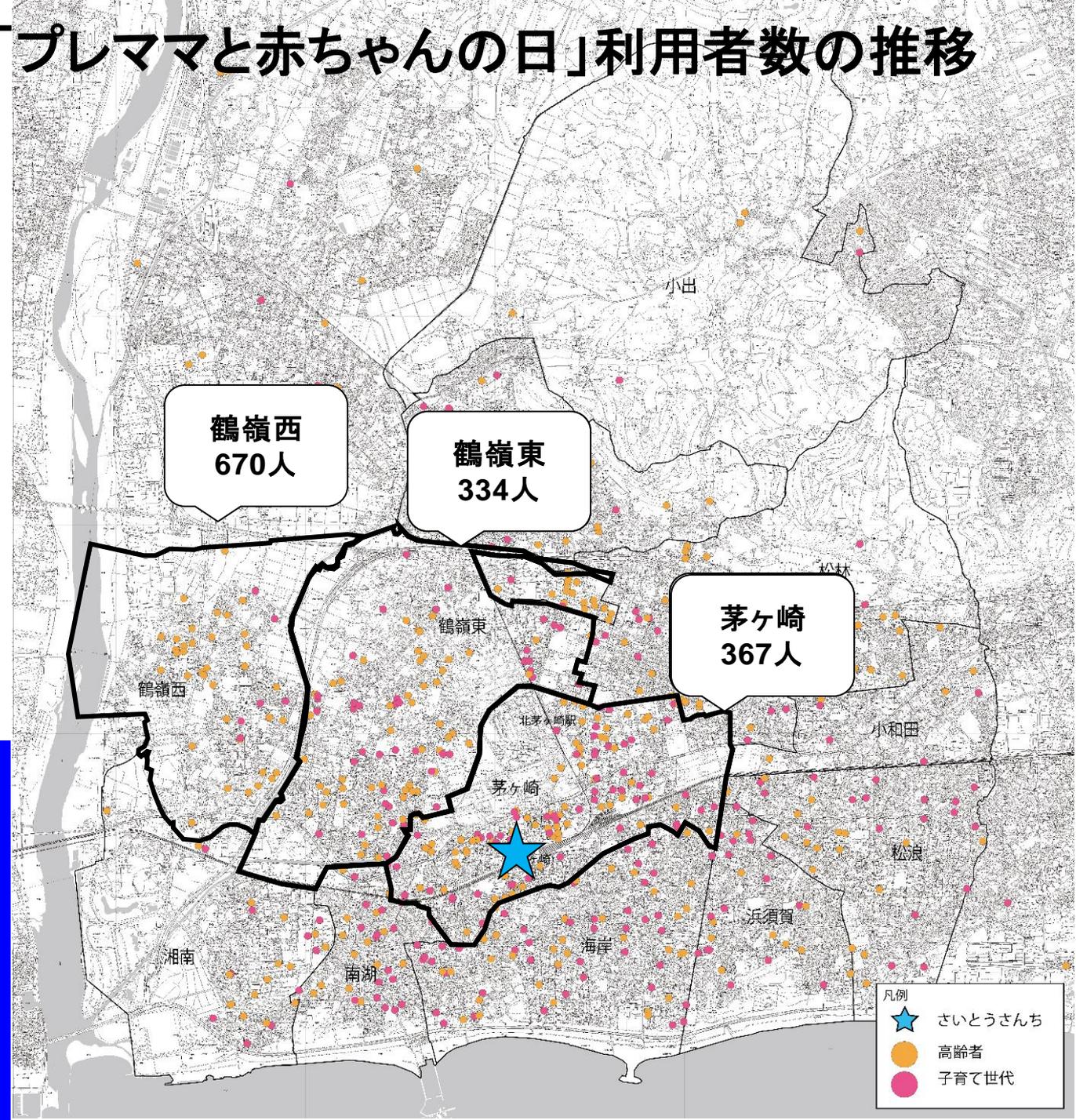
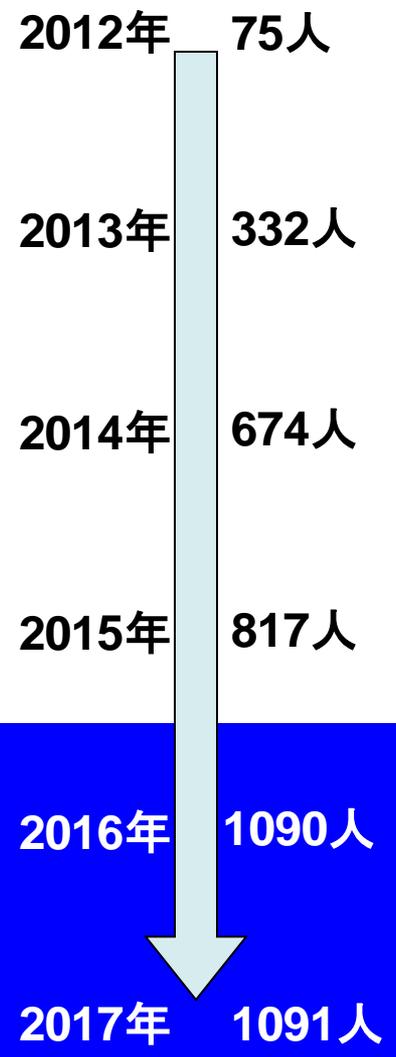
# 空家活用における地域的展開

## 地域的展開

年月	
1992	まちづくりユニット茅ヶ崎 開設 ・茅ヶ崎市内にある運動グループの10団体が集まり、「年をとっても障害があっても地域で住み暮らせるために」などの思いを形にする為、活動を行っている。 ・市民が持つ様々な資源（労力、時間、経験、お金、生技術）や生活クラブ生協の資源を活用して、地域の中心豊かに暮らしていくための仕組みや助け合いのシステムづくりを目指している。 参加団体（10）：湘南生活クラブ生協茅ヶ崎コンズ、ちがさきデポ- / NPO法人W.Co ー心 / NPO法人W.Co あのん / NPO法人W.Coファイト / NPO法人W.Co ぶられっと / NPO法人ワーコレたんぼひろば / NPO法人W.Co ほっぺ / NPO法人WE21ジャパン茅ヶ崎 / NPO法人W.Coのびのび
2011~	居場所づくりの活動を始める
2012.4	S宅の空家情報を得て、S氏の息子に許可を得る。
2012.6	「さいとうさんち」準備会の設立
2012.8.1	さいとうさんち <地域の居場所> (地域のお茶の間研究所 さらんどて)
2013.2	かがわ7丁目 <地域の居場所> (NPO法人 デイサービス あのん)
2015.4.3	辻サロン <地域の居場所> (民生委員)
2016.4	みんなの居場所 <地域の居場所> (鶴が台名店街に地域の居場所を作る会)
2016.5	ら・ぱれっと <地域の居場所> (フリースペースら・ぱれっと)
2016.10.6	おむすび松林 <地域の居場所> (松林地区まちぢから協議会 子ども部会)
2017.1.7	たんぼぼはうすく <地域の居場所、一時預かり> (NPO法人W.Co たんぼぼひろば)
21	



# 「さいとうさんち」・「プレママと赤ちゃんの日」利用者数の推移





# 空家の利活用による地域的展開の実現にむけて

## ○多様な主体・多様な世代の連携

- ・自治会・町内会、市民活動団体、NPO、
- ・福祉・医療、不動産 関係者

## ○地域単位でマネジメントするしくみづくり

## ○行政等の支援体制

## ○情報共有・連携

### ・茅ヶ崎市地域コミュニティの認定等に関する条例

まちぢから協議会＋市：地域担当職員

ex.松林地区：子どもと親子の居場所おむすび松林事業等

ex.湘南地区：まち歩き事業・まちぢからマップ

### ・茅ヶ崎市空家等対策計画

空き家対策便り ex.室田地区：地域有志空家調査（見守り活動）

# 地域的展開

## みんなの 地域たすけあい つながりマップ

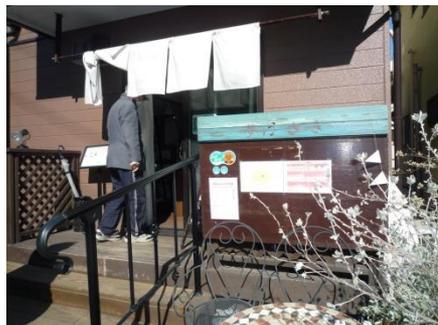
大倉山・菊名・小机エリアに暮らすみんなが  
誰でも利用できる施設があります。  
地域で助け合い、つながりを生む活動の輪が広がっています。



# 事例



大倉山おへそ



街カフェミエル



おやこの広場  
びーのびーの



ギャラリー  
スペース  
弥平



カフェおからさん



# 3. 活動団体による事例紹介

## 空き家利活用事例発表①

空家を活用したこども食堂・空き地を活用した農園等による地域活性化

平成30年2月18日

後藤光子

## フィンヴィレッジ げんき村 村長 後藤光子

### <村長コメント>

フィンビヴィレッジ げんき村とは地域の方々の健康と幸せをモットーに、医療、介護、スポーツジム、食堂等地域貢献の拠点として“ちょっとよってこ”と名付けた古い空き家等で様々な活動を行っています。

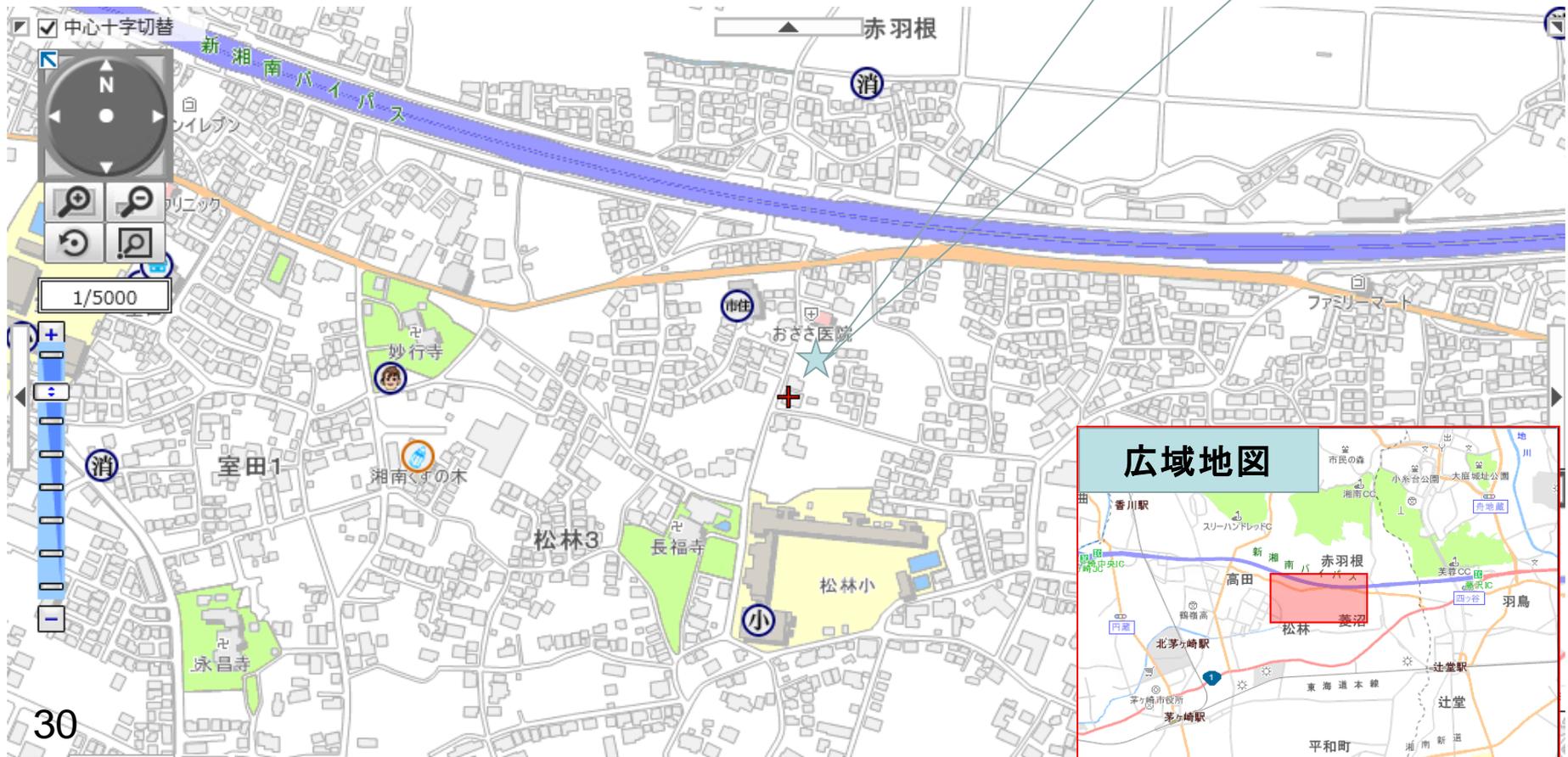
## フィンヴィレッジげんき村活動概要

- 運動＝トレーニングジム「からだ」
- 食事＝げんき村食堂総本舗「心」
- 予防医療＝「楽笑健康倶楽部125」
- 食育＝「畑・子ども食堂」
- 仲間＝シェアハウス

# 事例発表①

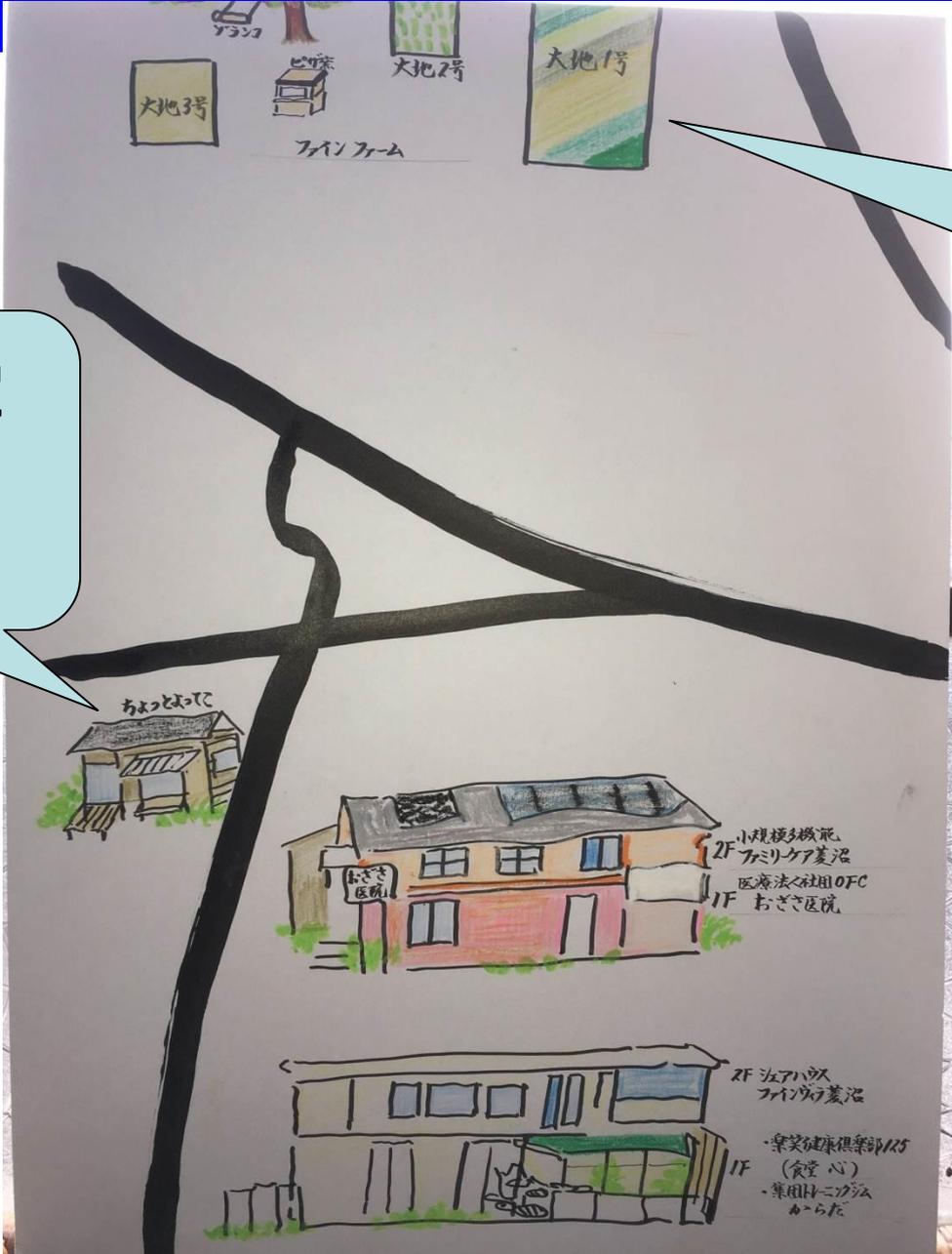
# 活動場所地図1

ファインヴィレッジげんき村  
茅ヶ崎市菱沼1丁目4-7



子ども食堂  
活動場所  
(空き家)

空き地を活用した農園







# 事例発表①

# 空き地利用事例3







ご静聴ありがとうございました。

後藤 光子



# 3. 活動団体による事例紹介

## 空き家利活用事例発表②

### セカンドリーグ神奈川が取組む 空き家、空き室を活用した事例紹介

2018年2月18日  
特定非営利活動法人セカンドリーグ神奈川  
事務局次長 六角薫

### \* ミッション

私たちは、心豊かな地域社会を作るために地域の人々やコミュニティ、行政に働きかけて社会的価値ある活動や事業を支援します。

### \* パルシステム神奈川ゆめコープの理念のもと、

2012年NPO法人格取得

### \* 会員数(2016年度末)

正会員12・賛助会員43・活動会員34



### 1. 起業支援事業：地域で起業したい人を応援

起業相談・活動支援・広報協力・企画立案

### 2. 子育て支援団体支援事業：子育て支援全般

会員間の保育・見守り活動、子育て企画運営

### 3. 協働連携創造事業：多様な団体や行政と連携

青空マーケット、のんびるフェスタ、かながわボランタリー活動推進基金21

### 4. 各種団体からの受託事業：施設管理・運営の受託

ふらっとパル茅ヶ崎管理運営

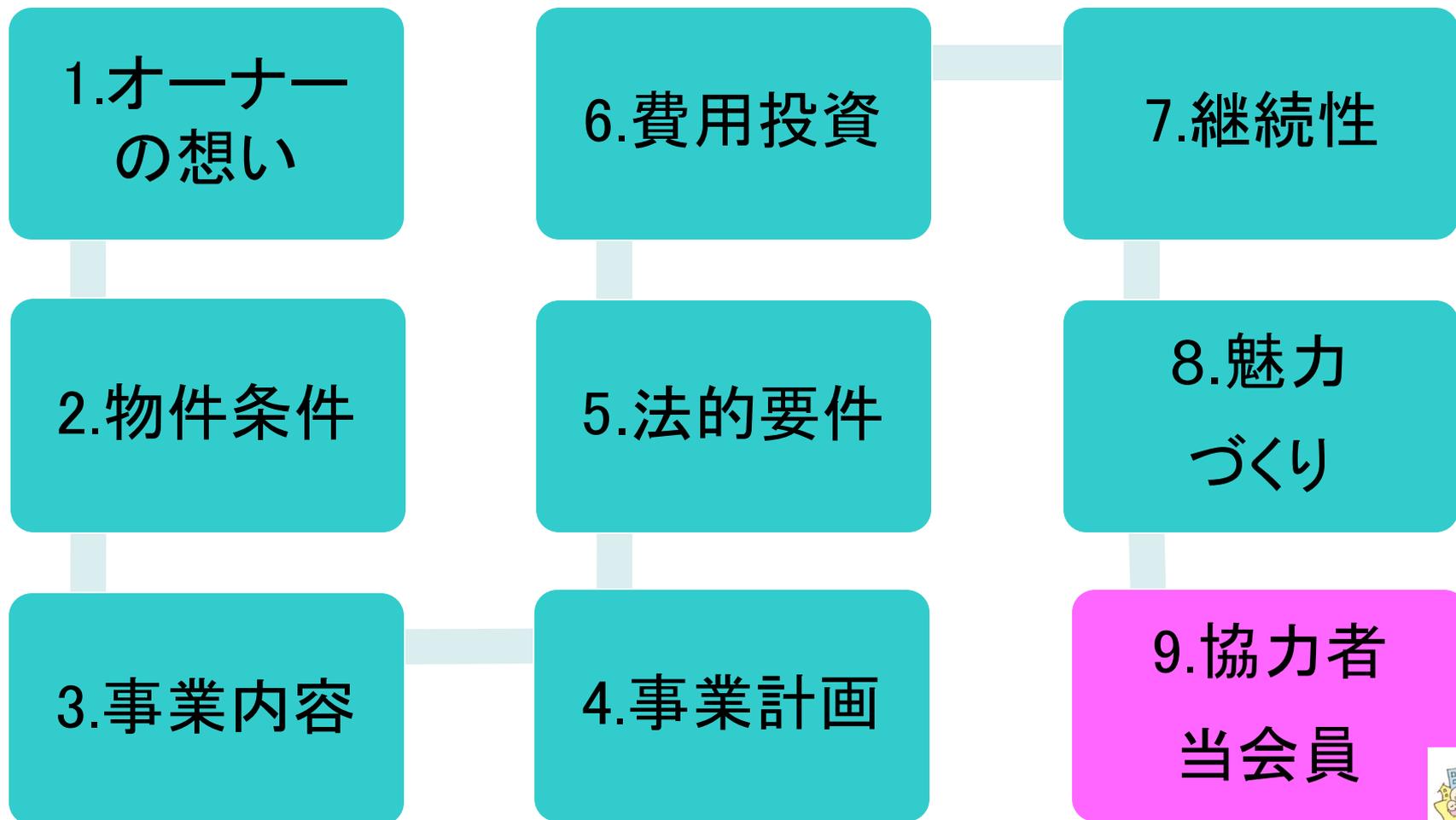


### ・役割

需要と供給をつなぎ、人・モノ・こと・情報を  
コーディネート(中間支援)、地域資源を活用。

### ・目指す姿

そこにある資源(空き家)を活用し、持続可能な事業の  
ための支援、誰もが暮らしやすいまちづくりを目指す。



# 事例発表②

## 古民家の活用事例1

1. オーナーの想い  
・地域とつながる  
カフェを開きたい

2. 物件の条件  
・家賃を抑えたい  
・自由に改装したい



3. 事業内容  
・カフェ、製造販売、交流  
スペース、販売スペース

4. 事業計画  
・収益性事業  
・ランニングコスト



# 事例発表②

## 古民家の活用事例2

### 5. 法的要件

- ・建築確認、食品衛生
- ・近隣との関係

### 6. 費用投資

- ・改築費
- ・設備費

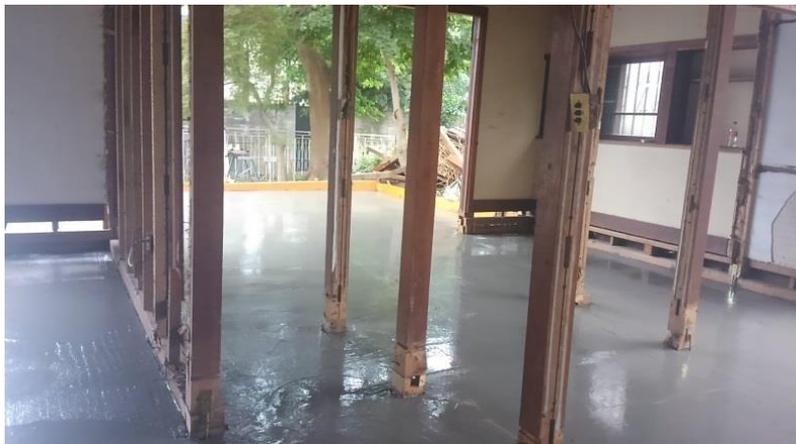


### 7. 継続性

- ・顧客確保
- ・広報力

### 8. 魅力づくり

- ・独自性
- ・特異性



### 9. 協力者、当法人会員、専門家をつなぐ

\* 時間軸と活動を組合せる、稼働率、集客力、企画力

# 事例発表②

## 古民家の活用事例3



手作りのドアノブ



カフェの内装も手作りで(廃材は燃料に)

# 事例発表②

## 古民家の活用事例4

**Café D** **体験会(無料)やります!**  
古民家カフェでギターの体験レッスンしませんか?

**持ち物:**  
ギターを弾いてみたいというビュアな気持ち

**初心者チャレンジ大歓迎!**

**とき:** 10月16日(月)  
午前10時~11時30分

体験後、ギターを続けたい方は  
カフェでのグループレッスンを申し込むことも出来ます!

ウクレレもいいけど、やっぱりかっこよくギターで弾いてみたい...。  
ギター持っていないけど、ギター弾いたことなくても、譜面が読めなくても大丈夫!  
ギターで弾いている自分の姿を妄想できるなら、それだけで準備完了です!

**場所** 古民家カフェ  
Café BAL **ボンラヴィ**  
港北区鳥山町804(城郷小学校正門前)

**申込** ①電話で申込み  
050-5585-9949

②ホームページで申込み  
[セミナー申込みフォーム]  
<http://www.nagilife.com/hamanakama/entry/>

**講師紹介**  
神奈川・東京を中心に活動するクラシックギター講師。  
品川ギター茶会主催、エスタシオネス・ギターカルテットメンバー  
品川教室、池子米車住宅地にてギター講師を務める。  
発達障害者のギターレッスンも実施。  
ギターを通じた自己表現や他者とのコミュニケーションの力とするための支援を行っている。  
【初心者・未経験者でギターにここがれていると言う人こそ、ギターの楽しさを体験してほしいです。】

**郷づくり濱なかま** は、【風らいふパートナーズ】が運営協力しています。  
『得意』なことを地域に伝えたい方、濱なかまの活動にご興味のある方は、ホームページから登録/問合せができます。  
<http://www.nagilife.com/hamanakama/>



## お店づくりワークショップやイベント

### 「食」と「地域」をつなぎ 神奈川から貧困をなくすためのK-Model構築事業

「K-Model」とは、「食品ロス削減」と「生活困窮者支援」を目的に、多機関が連携し、ネットワークすることで、それぞれの持っている資源を活用する神奈川の持続可能な支援の形

- 事業1: 多機関連携によるK-Model推進事業  
企業・支援団体等と連携し、食品循環のビジネスモデルを構築。県民啓発活動
- 事業2: 地域フードバンク支援事業  
フードバンク・子ども食堂などへ食品提供の支援  
空き屋などを活用したコミュニティづくり支援
- 事業3: フードバンク立上げ支援  
マニュアルづくり・運営相談・ボランティア呼びかけなど

### こども食堂・地域食堂



#### \* 場所が欲しい

ケアプラザ・地域コミュニティセンターなどから固定の場所で

#### \* 食堂以外でも集える場

子どももおとなも誰もが参加

#### \* 人の関わりと課題の取組み

寺子屋・認知症カフェ・若者カフェ・  
シングルマザー支援企画

#### \* 身近な場で活動

徒歩圏内でつどう場が必要

#### \* 人から人へつながりの場・地域活性

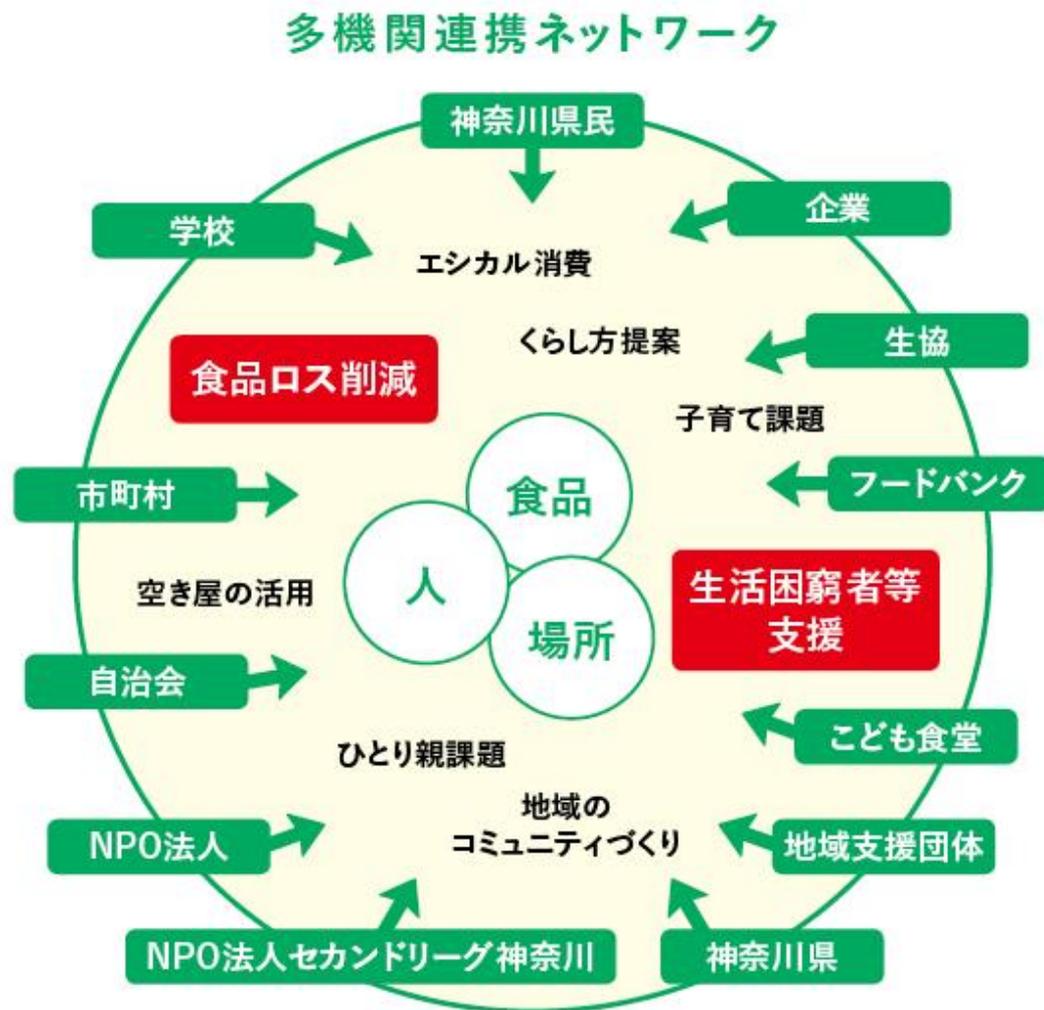
コミュニティづくり・

地域力の向上・災害時の助け合い

# 事例発表②

## 古民家の参考事例 神奈川区三ツ沢





空き家の活用や食品支援を通じ社会的な課題に取り組んでいる団体の支援・相談に応じています。  
ご要望等ありましたらお知らせください。

ご静聴ありがとうございました。

特定非営利活動法人セカンドリーグ神奈川  
住 所：横浜市港北区新横浜3-18-16新横浜交通ビル3階  
電 話：045-470-5564  
メール：[sl-kanagawa@pal.or.jp](mailto:sl-kanagawa@pal.or.jp)

# 茅ヶ崎市の空き家対策

平成30年2月18日

都市政策課住宅政策担当

# 市の施策

# 茅ヶ崎市空き家対策の体系図

## 茅ヶ崎市住まいづくりアクションプラン

・高齢者等への住まい制度周知等  
(例：あんしん賃貸支援事業 等)

・UR等の公的賃貸住宅との連携  
(例：浜見平地区拠点整備事業 等)

・市営住宅の有効活用  
(例：借上型市営住宅の整備 等)

・耐震化とバリアフリー化の促進  
(例：木造住宅耐震診断事業 等)

・供給誘導  
良質な住宅供給促進

等

## 発生予防

(例：住まいの相談窓口 等)

## 適正管理

(現状対応：  
環境保全課・建築指導課・予防課)

## 利活用方策

(例：空き家活用等マッチング制度 等)

## 茅ヶ崎市空家等対策計画

(空家等対策に関する特別措置法)

・空家等対策計画の策定、変更

・特定空家等の判定

・特定空家等の所有者への  
助言、指導、勧告、命令

進行管理

進行管理

茅ヶ崎市住まいづくり推進委員会

報告

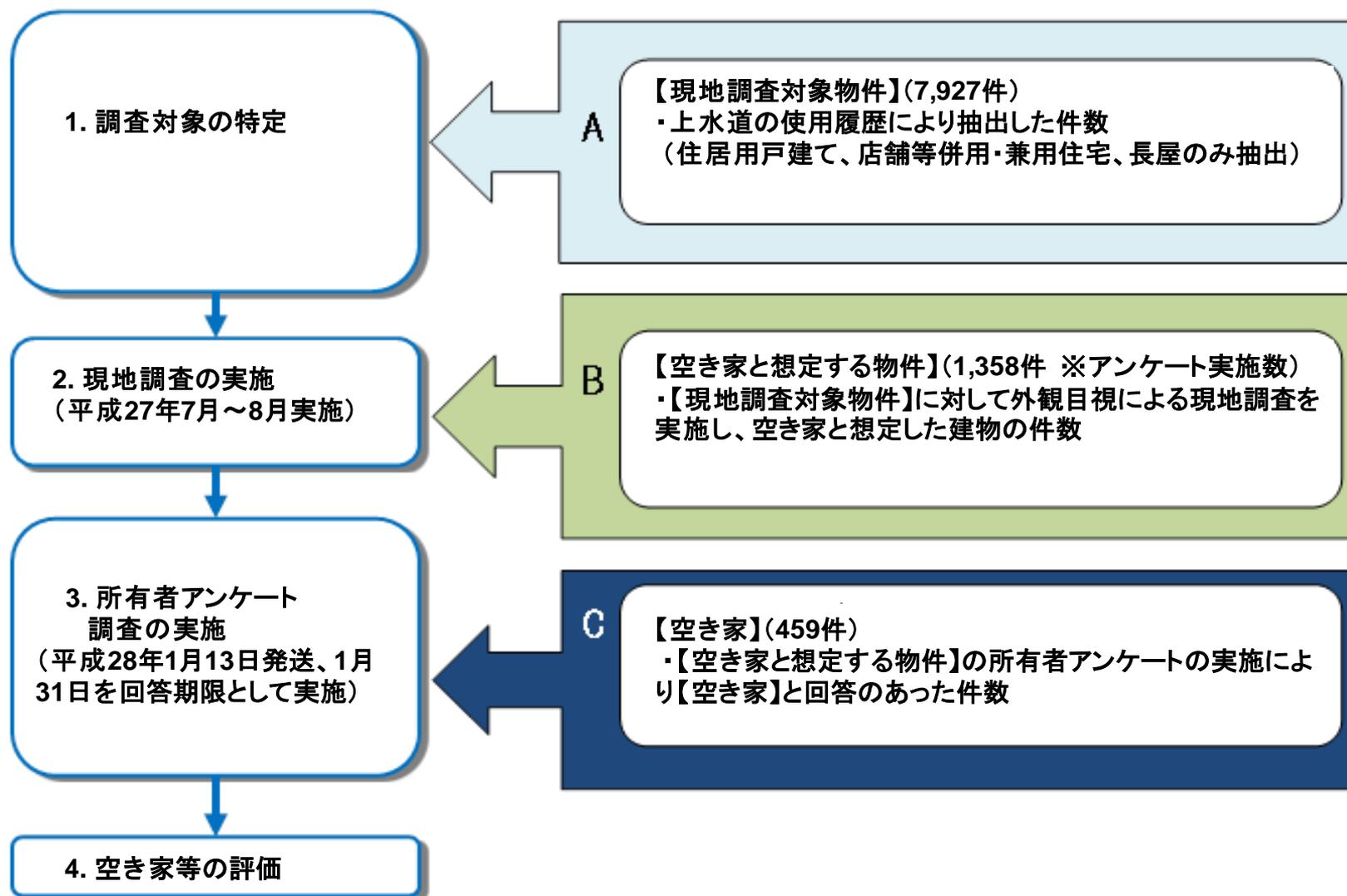
空家等対策推進協議会

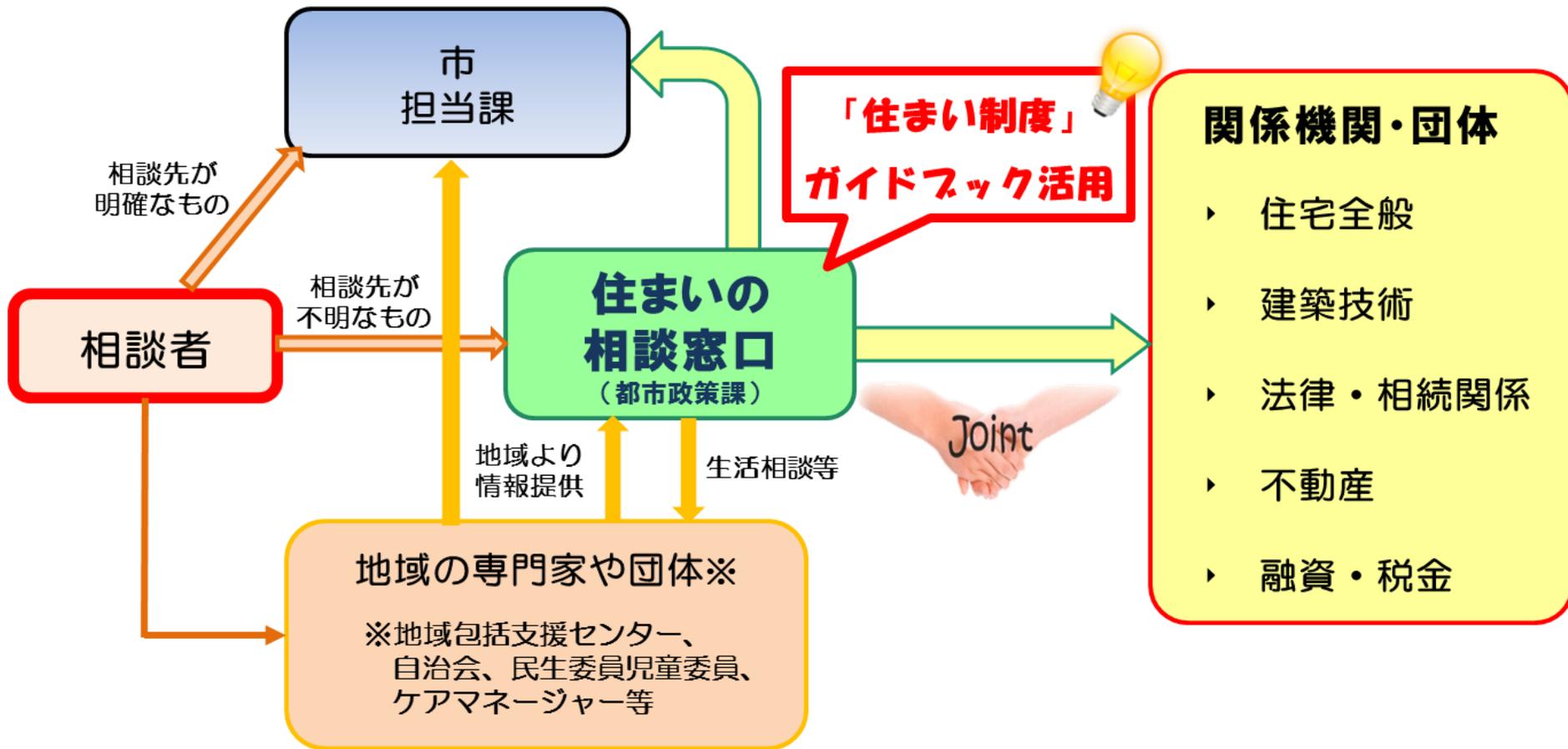
意見

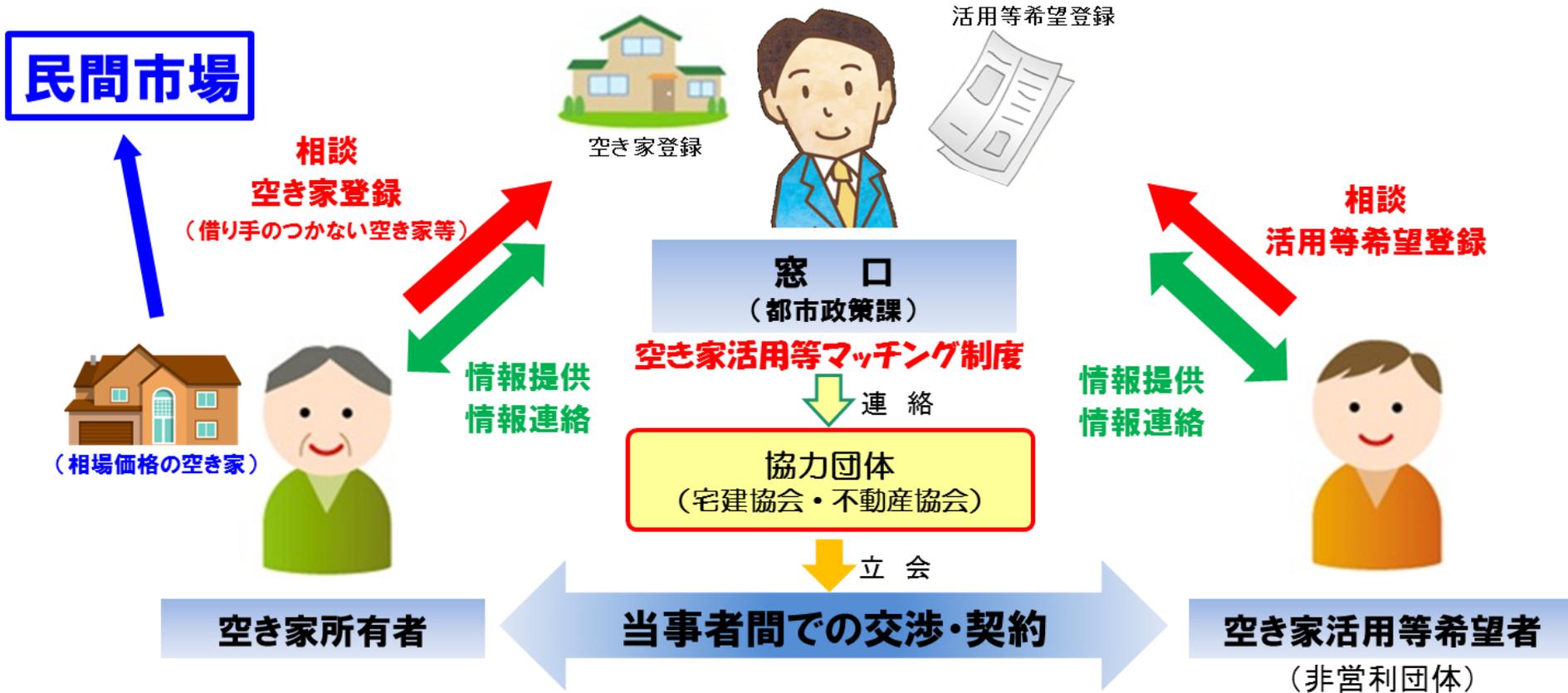
□ : 空家対策

□ : 住宅政策

## <空き家調査の流れ>







これまでの  
取り組み①

## アンケート調査に基づくヒアリング対象地区の検討

- 民生委員・児童委員からの空き家情報の数が多い地区
- 空き家のうち管理不全の空き家が多い地区

- 抽出地区: ①茅ヶ崎、②海岸、③南湖、④鶴嶺東、⑤湘北

## ヒアリングの実施

- アンケート調査でヒアリング協力の承諾をいただいた方を対象
- 地区ごとに参加者を一堂に集めグループでヒアリング
- 質問項目: ①担当する地区の特徴と住民が困っていること
  - ②地域での空き家発生・管理状況や空き家活用の可能性
  - ③自治会などの活動の状況 等

- 空き家活用ニーズ
  - ・ 自宅にある未利用建物を地域活動に使ってほしい(海岸地区 北1丁目)
  - ・ 地域包括とボラセンの活動の場として空き家活用希望(南湖地区 下町)
  - ・ 地域の居間としての活用(湘北地区 松風台)
  - ・ 自治会館としての活用(茅ヶ崎地区 矢畑南)
- 地域活動の状況
  - ・ 地区独自のまちづくりルールの運用(湘北地区 松風台)
  - ・ 若いファミリー世代の自治会活動への主体的な参加(南湖地区 下町)
  - ・ まちちから協議会の設立による自治会の活性化(海岸地区 北2丁目等)

これまでの  
取り組み  
②

## 地元協議の場の設定

- 空き家の発生予防や管理の話から入るのは難しい面があるため、活用についての具体的な意見が出ていた地区を中心に、地区での継続的な意見交換が可能かどうかを模索。

## シンポジウムの開催

- 市内各地区の将来状況(人口減少や少子高齢化等状況など)の問題提起とともに、空き家活用についての具体的な案件やニーズがあり、自治会等の活動も比較的しっかりしている上記3地区での取組なども紹介し、参加者によるグループ討議での議論、地区での主体的活動への機運醸成へとつなげる。

## 今後の取り組み

市はグループディスカッションの議論を踏まえ、市民活動をサポートする体制づくりをめざす。



地域の勉強会やワークショップ等の開催により、地域の課題を市民が主体的に解決するためのサポートを行う。

- ・草木の繁茂・・・・・・・・・・・・・・・・・・環境保全課
- ・建築物全般・・・・・・・・・・・・・・・・・・建築指導課
- ・火災危険・・・・・・・・・・・・・・・・・・消防本部予防課
- ・空家等対策計画全般・・・・・・・・・・・・・・・・都市政策課  
(例:近所の空き家が管理されておらず周囲に影響が懸念される等)
- ・住まいの相談窓口、空き家活用等マッチング制度に関する問い合わせ・・・・・・・・都市政策課  
(例:空き家を売却したい。空き家を活用したい。(所有者、利用者)等)
- ・住まいのモデル事業に関する問い合わせ・・・・都市政策課  
(例:空き家活用等の地元協議の場を設定してもらいたい。地域で空き家活用事例を研究したい。等)

## 5. パネルディスカッション

会場のみなさんとパネリスト、パネリストどうしで、**対話**しながら進めたいと思います。

休憩時間に、付箋に書いて提出していただいたみなさんからの**質問**を分類・整理したうえで、質問に答えながら、**斬新な視点・身近なアイデア**などを対話をつうじて探っていきます。

# 5. パネルディスカッション

- コーディネーター

都市プランナー 野口 和雄

- パネラー

東海大学工学部建築学科 教授 加藤 仁美

ファインビレッジげんき村 村長 後藤 光子

特定非営利活用法法人セカンドリーグ神奈川

事務局次長 六角 薫

大妻女子大学社会情報学部環境情報学専攻

教授 松本 暢子

## 6.グループディスカッション

### ☆目標

空き家・空き地を利活用し、茅ヶ崎を魅力的なまちにする**アイデア**を出し合いましょう！

### ☆進め方

①次の4つを中心に**自由に意見を出し合**いましょう！

- ◆空き家・空き地で**困っていること**
- ◆地域で**どんな活動**をするか
- ◆**誰と一緒に**取り組むか
- ◆まず**何から始める**か

②出された意見をもとに、**提案をつくり**ましょう！

# グループディスカッション

## ①自由に意見やアイデアを出し合ひましょう！

■■グループ

参加者：●●、●●、●●、●●、●●、●●、●●

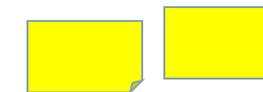
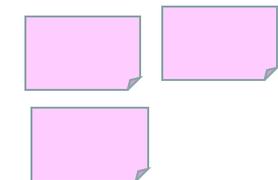
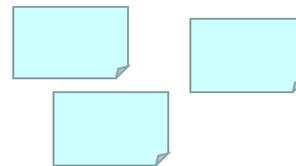
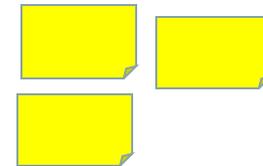
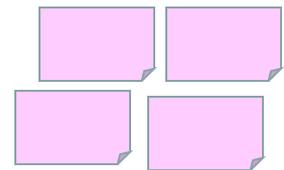
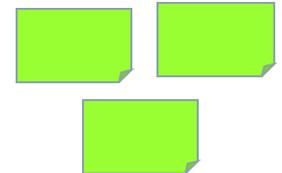
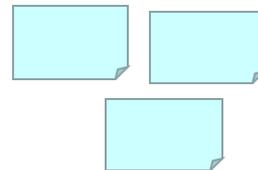
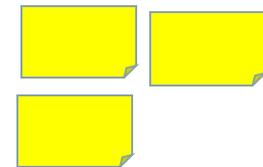
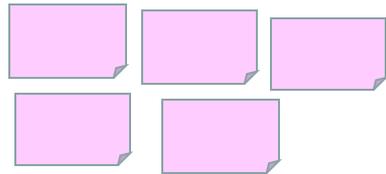
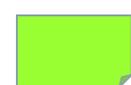
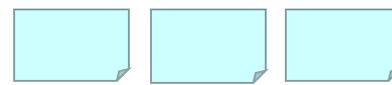
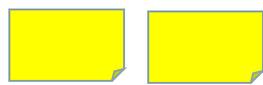
2018.2.18

困っていること

どんな活動をするか

誰と一緒に取り組むか

何から始めるか



# グループディスカッション

## ②提案をつくりましょう！

■■グループ

参加者：●●、●●、●●、●●、●●、●●、●●

2018.2.18

私たちは、●●を解決するために、▲▲さん(団体など)と一緒に、  
まずは■■から始めて、◆◆の活動や取組をします。

参考例：

私たちは、

空き家の雑草や植木の問題を解決するために、

近隣の住民や不動産屋さんと一緒に、

まずは空き家を相続している息子さんと話し合うことから始めて、

空き家を管理するお手伝いの活動や取組をします。

# グループディスカッションのルール

1. 一人ひとりの「**想い**」を大切にしましょう。
2. お互いを尊重し合い「**さん付**」で呼び合しましょう。
3. 参加者全員で「**発言機会**」を提供しあい、より良い「**関係性**」をつくりましょう。
4. お互いの考えの「**違い・多様性**」から学び、新しい「**気づき**」を生み出しましょう。
5. いつもの主張・考えだけでなく議論のなかで「**感じたこと**」を大切にしましょう。
6. 意見を記録として残すために、意見は付箋「**書いて貼り出し**」ましょう。

# グループディスカッションの発表・全体共有

- ◆グループでの議論を紹介し合い、**みんなで共有**しましょう。
- ◆各グループでとりまとめた模造紙は、**みんなの成果**として、写真に撮るなどして**お持ち帰りOK**としましょう。
  - ・今後の地域での取り組みなどに生かしましょう。
- ◆グループ発表の時間は、**各グループ2分**です。
- ◆グループ発表では、作成した「提案」を読み上げたうえで、主に次のようなことを**紹介**しましょう。
  - ・盛り上がった議論／意見が分かれた議論
  - ・多かった意見／ユニークなアイデア など